

# 2021年度 事業報告書

2021.4.1 → 2022.3.31



# 平和を強く願いながら、 2021年度の事業を無事終えることができました。 ご支援いただきました皆さまに深く御礼申し上げます。

感染症や海外での争いにより心ならずも私たちの生活が左右される時代だからこそ、日々の暮らしの中にある課題や想いに寄り添うことを大切にしたい1年でした。

これまでの複数の事業を『ツナガリとニギワイをつくる』『ハタラクをつくる』の2部門に再編し、その中から宝塚NPOセンターらしい新規事業を生み出すことに1年かけて取り組み『Say! So!事業』『地域で支える母子ハウス事業』を生み出すことができました。これらの事業の本格的始動は2022年度ですが、話し合いを重ね事業を生み出すことに費やした時間や関係する方々のご協力や励ましは、これからの私たちの活動に多くの影響を与えるものだろうと確信しております。手に取っていただいている事業報告書からその熱量を感じていただけま

したら幸いです。決して大きなことはできないのですが、『宝塚NPOセンターらしさ』を大切に2022年度も歩んでまいりますので、今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

なかがやま みつこ  
理事長 中山 光子



## 宝塚NPOセンターの理念



# 4つの数字で振り返る

## 宝塚NPOセンター 2021年度の活動



1年間の相談件数

4,579件

2021年度に受けた相談件数を合計すると、なんと4,579件にも上ります。一年間を通じて、たくさんの相談をいただきました。

### 相談件数の内訳

運営相談件数

826件

起業相談件数

407件

就労相談件数

3,346件



雇用創出数

533人



2021年度は533人の雇用を生み出しました。



ボランティア数

46人

46人ものボランティアに、私たちの活動をサポートしていただきました。

講座開催回数

311講座



複数の事業で開催した講座は、合計で311回。多くの方にご参加いただきました。

## 取組み報告 もくじ

宝塚NPOセンターならではの事例紹介

起業を応援し、  
まちのニギワイを作る

### 実施事業のご報告

各事業に関わりのある皆さまの  
インタビューも掲載しておりますので、  
ぜひ一緒にご覧ください。



### 決算などのご報告



**シェアカフェの取り組み紹介** 05

2021年4月に花のみちの入り口にオープンした『シェアカフェ』のご紹介

**シェアカフェ卒業生インタビュー** 06

Lauai（チョップドサラダ専門店）オーナー 戸川さんインタビュー

**実施事業 1. ツナガリとニギワイをつくる** 07

- ・宝塚市美座地域まちづくり協議会代表 梅村さんインタビュー . . . . . 07
- ・市民活動促進支援事業 . . . . . 08
- ・コミュニティ・ビジネス ICT 活用促進事業 . . . . . 09
- ・ひょうごアドプト推進業務 . . . . . 09
- ・生きがいしごとサポートセンター事業 . . . . . 10
- ・三田市創業支援事業 . . . . . 11
- ・シニアの生きがい事業 . . . . . 11
- ・居住支援事業 . . . . . 12
- ・フードシェアリング事業 . . . . . 12

**実施事業 2. ハタラクをささえる** 13

- ・コープこうべ 第1地区本部本部長 前田さんインタビュー . . . . . 13
- ・地域若者サポートステーション事業 . . . . . 14
- ・職場体験付若者就労支援事業 . . . . . 15
- ・伊丹市若年者就労サポート事業 . . . . . 15
- ・宝塚市就労準備支援事業及び生活困窮者自立相談支援事業 . . . . . 16
- ・宝塚市伴走型女性就労支援事業（IPPO） . . . . . 17
- ・企業連携 . . . . . 18
- ・清掃（Say! So!）事業 . . . . . 18

2022年度 特定非営利活動に係る事業計画／2021年度 貸借対照表／活動計算書／  
2022年度 活動予算書／2021年度 支えてくださった皆さん／  
ボランティア／職員／役員一覧／取り組みのSDGs一覧表 19





## 宝塚NPOセンターならではの事例紹介

### 起業を応援し、まちのニギワイを作る

2021年4月、起業支援とまちのにぎわい作りのため、花のみちの入り口に『シェアカフェ』をオープン。備えつけられた飲食店の設備をシェアすることで、開業の負担を軽減し、いずれ自分の店を持ちたいと考える人が気軽にチャレンジすることができる仕組みです。曜日ごと、昼／夜の区分ごとに契約したオーナーが利用を開始しました。



取り組み理由

飲食店の開業は、家賃・設備など一定の開業資金が必要になります。経験がなく収支見通しが立たない中で設備投資のための資金調達をすることなく開業へ向けての準備をすることが可能です。また、コロナ禍で外食機会が低減し、開業しても売上げが不透明であることから、初期投資を抑

え、営業経験を積むことで、安定的に継続営業できる開業スキームを確立するための支援が必要でした。育児や介護、副業などさまざまな理由で、すぐに毎日の営業はできないものの、少しでもステップを進めたいという未来のオーナーをサポートするためにも「シェア」という仕組みが有効でした。



今年度の成果

シェアカフェは、飲食店営業許可と菓子製造許可を取得し、調理器具から食器、基本的な消耗品までの一式を揃えたシェアキッチンとして、昼は飲食店利用のオーナー、夜は団体活動のPRやサロンなどのコミュニティスペースとしても利用が可能な施設として、利用者募集を実施しました。

カレー屋、あんこが特徴の和カフェ、水餃子カフェや日本酒バー、絵本カフェなど、「いずれ自分の店舗をオープンしたい」と希望するオーナーが、施設を利用し、週に1度の自分の店をオープンしました。夜は保護猫活動をするNPO団体の活動案内、地域の寺院の写経会の利用などがスタートしました。飲食店の営業については、感染症拡大の影響により、客足が伸び悩んだ時期もありましたが、各オーナーは、メニューや告知方法、調理方法などの改善を重ねるとともに、テイクアウトメニューを増やしたり、飲食サービスだけではなく、店内でワークショップを行ったり、店内に音楽を流すなど、独自の集客への取り組みを展開されていました。

告知のお手伝い、営業時の疑問解決や感染症対策の実施、他の支援機関への連携などをサポートし、初めてお店をオープンするオーナーたちが円滑に営業できるよう支援を

行った結果、シェアカフェでの経験を活かし、宝塚市内で自店舗をスタートさせたオーナーが2名誕生しました。シェアカフェでお店のファンになったお客様が来店している様子もあります。ほかに、商品の販売を多角的に発展させ卒業を迎えた方もいらっしゃいました。

また、お店を訪れるお客様からは「日替わりで異なったお店があって毎日楽しめる」といった声をいただき、シェア施設ならではのにぎわいを地域につくることができました。

#### 数字で見る今年度の成果

活動団体数 **23** 団体 独立開業したオーナー数 **3** 人



夜にシェアカフェを活用されている写経会の様子





シェアカフェ時代：『土曜日のマチソワ』オーナー  
現在：Lauai（チョップドサラダ専門店）オーナー

とがわ さやか  
戸川 沙也華さん



2021年4月～12月までの間、『土曜日のマチソワ』としてモーニングとランチを提供するカフェをオープン。3人の宝塚歌劇ファンのスタッフでお店を切り盛りし、人気店となりました。シェアカフェから徒歩1分のチョップドサラダ専門店『Lauai』のオーナーとなり、卒業されました。

戸川沙也華さんに聞きました

## シェアカフェの経験が自信となり、 まちが更に好きになりました。

元々事業としてやっていた海外ブライダルのデザインの仕事が、コロナ禍で激減したことがきっかけでした。シェアカフェのオーナー募集のチラシを見て、「新しいことをやってみよう」と経験のない飲食店にトライ。シェアという仕組みだからこそチャレンジできたと思います。

飲食店でアルバイトをしていましたが、自分でメニューを考え、提供をする経験はありませんでした。お客様が「美味しい」と言い、何度も来てくれることが何よりも嬉しかったです。

わたしたちは宝塚歌劇が好きで、シェアカフェをやってみるまで『宝塚は歌劇のまち』だととらえていました。実際にお店をやってみると、歌劇ファン以外の、近隣で暮らしている方々もたくさんお客様として何度も来てくれました。地元の方から、他のお店のことやまちの情報を聞き、お話をすることも多く、交流が生まれました。

「Lauaiのオーナーをやってみないか」と声をかけられたときも、シェアカフェで飲食店を経験し、お店を自分で回したという自信があるからこそ、「できそうだ」と思えました。急にたくさんの従業員と仕事をするこ

になり、経験がなければチャレンジしてみようとは思えなかったかもしれません。オーナーを継いだあと、『Lauai』の中に『土曜日のマチソワ』を取り入れ、イートインスペースを作り、ランチの提供を始めたことで、シェアカフェのお客様も足を運んでくれています。『土曜日のマチソワ』の名前に愛着を持っており、つながりを大事にして、いつかまた近隣でマチソワを展開したいとも考えています。

宝塚NPOセンターさんからの紹介で、宝塚市をエディブルフラワーで盛り上げようとする団体とも出会いました。取り組みに加わり、お花を使ったお菓子を展開したいと企画しています。宝塚駅前が盛り上がり、「ぶらりと遊びに来たい」と皆さんが思うようなまちにする一助になりたいと考えています。



土曜日のマチソワのお料理



土曜日のマチソワスタッフ





## 実施事業 1.

# ツナガリとニギワイをつくる

自分のやりたいことでこれからのまちをつくる人を応援し、楽しみながらその想いを実現できる社会を広げ、みんなのHAPPYを目指します。



### 宝塚市美座地域まちづくり協議会代表 梅村さんに聞きました



宝塚市美座地域まちづくり協議会 代表

うめむらさとし  
梅村 諭さん

宝塚市美座地域まちづくり協議会の代表を約7年務められる傍ら、民生委員を10年以上も務められているので、地域事情については、深くご理解されており、若者からシニアまで、多様な世代がまちづくりに参画できる地域づくりを目指して、日々活動に取り組まれています。

コロナ禍の影響から従来通りの活動が難しくなっており、どう人と人との関わりや地域づくりを進めていくかに課題を感じています。そこで取り組み始めたことが、デジタル技術やオンラインを取り入れた活動です。それはコロナ禍が収束した後をも見据えた取り組みです。住み続けられる地域づくりには、若い人が関われる環境を整えることや、さまざまな理由で外出が難しい方が参加できる仕掛けが大切です。宝塚NPOセンターは地域に向向ってきてくれて、私たちだけでは分からないところを具体的にイメージしながら進められるよう支援してくれます。

時代が移り変わる中で、地域活動も変化が求められます。その変化に対応するためにも、迷った時に気軽に相談できる、そんな存在として今や宝塚NPOセンターはなくてはならない存在だと感じています。ネットワーク会議などにも入ってもらい、まちのこれからを一緒に考えてもらいたいと思います。





## 社会変化に適応するまちづくりを支える

宝塚市で市民活動をしたい人々が最初の一步を踏み出し、その目的や思いを実現していくための支援と、誰もがまちのことを考え参加できる環境づくりを行っています。

**対象**  
宝塚市内の  
市民と  
市民活動団体

### 🔍 取り組み理由

社会の状況や常識は常に変化していきます。その中でふと感じた疑問や違和感から生まれる気づきは、社会が抱えている課題の顕在化や解決に至る原動力になります。その気づきを行動につなげるには、思いを整理・具体化し、社会に伝え働きかけていくことが必要です。

また地域活動では、女性の社会進出や定年延長などの影響から、従来通りの活動様式では立ち行かなくなりつつあります。これまでとは違った新しいカタチを模索し、多様な知恵と意見を取り入れ、まちづくりに活かしていくことが求められています。

### 📄 今年度の成果

運営相談の約3割がデジタル化を取り入れることでした。その中でもオンライン会議のシステム導入・活用の相談が多く寄せられました。既にオンライン会議を取り入れた団体では時間・場所・障がいの有無など、参加の隔たりとなる要因を解決し、多くの人が参加でき、意見を言える環境になるようサポートいたしました。

この他に、活動開始から年数が経ちメンバーの高年齢化や引き継ぐ方の不在により活動が難しくなり対応を考える相談も見られました。今年度は解散相談が2団体あり、そのうち1団体は取り組まれている事業を他のNPO法人へ『事業譲渡』する支援を行い、団体の思いが次へとつながるようサポートしました。一方で、設立相談はのべ147件。相談者の状況にあった団体の形が選択できるよう提案し、それぞれのカタチで一步を踏み出し始めています。【担当：馬越】

### 数字で見る今年度の成果

NPO法人設立・  
コミュニティビジネス起業者数 **7** 団体・人

講座参加者のうち、  
デジタルツールを取り入れた活動が **96%**  
イメージできた方の割合

まちづくり協議会  
ポータルサイト  
再訪問者数 **前年比 103.2%**



オンラインでワールドカフェ形式の  
交流会を開催



オンライン会議やSNSなど  
市民活動での活用法を学んだ講座



活動の形を選択できるよう NPO 法人について説明



## ICTでコミュニティを変えるお手伝い

### 取り組み理由

コロナ禍において人と人が直接会う機会が少なくなり、活動が止まっている団体があるなど、地域活動を続けていくことが難しい状況が続いています。そんな中、離れていても顔を合わせて繋がることのできるZoomやSNSの活用を促進することで皆さんの活動を続けていく助けとなり、助け合う社会の衰退を防ぐ一助となるためこの事業を進めています。

### 今年度の成果

多くの方や団体からZoomやSNSについてご相談を受け、出張講座や相談を通して相談者の疑問点や困りごとを解決することができました。また、Zoomの他にも動画編集講座も開催。さらにZoom、動画編集講座の内容をわかりやすく動画にまとめ、YouTubeでの情報発信も始めました。そして、「講座の内容を動画でも紹介してくれて助かった」「すぐに疑問点を解決できて嬉しい」などのお声をいただきました。【担当：平岩】

### 数字で見る今年度の成果

相談・講座件数 **91** 件 出張相談、出張講座数 **35** 回

講座参加者数・相談者数（のべ人数） **195** 人

Zoom ホスト講座 51 人 / もっと Zoom 講座 10 人  
動画編集講座 29 人 / その他（HP 作成、SNS など） 25 人



出張Zoom講座



団体向けZoom講座

## 自らのまちの景観を守る担い手の活動をサポート

### 取り組み理由

ひょうごアドプトは、県が管理する道路・河川・里山などの区域を、地域住民が主体となって清掃や美化作業、草刈り、植栽などを行うことで、活動者の地域への愛着の醸成と美しい景観を維持する仕組みです。自主的に活動する団体の皆さんのアドプト活動が円滑に実施され、意欲を持ち続けていただくために、資材の提供や訪問、指導を行いました。

### 今年度の成果

阪神北地域では、40団体がアドプトに参加。必要とする資材や花苗を聞き取り、適切な時期に必要な数量を提供することで、市民の自主的な景観の維持活動を支援することができました。メンバーの高齢化が進む中、新たな担い手の獲得方法や感染症拡大による活動計画の変更の相談に加え、新規団体の活動をサポート。意欲を持って活動を続けられるよう支援を行いました。【担当：九鬼】

### 数字で見る今年度の成果

活動団体数 **41** 団体

参加者数 **1,523** 人



活動団体が景くすのき賞を受賞



新規活動で作られた花壇



## 誰もが生きがいをもって働ける社会へ

新しい働き方につながるショートワーク創出を実践。

起業、ダブルワーク、生きがい就労など多様な社会との関わり方をサポートしました。

対 象

兵庫県民

### 取組み理由

人口減少により社会経済活動の担い手層が急激に不足しています。これまで労働市場に結びついていなかった女性や高齢者がより社会に参画することが求められる一方で、人々のライフスタイルは変化し、場所や時間に縛られない多様な働き方の実現へのニーズが高まっています。コロナ禍においては、社会経済活動の自粛による雇用情勢の悪化、在宅勤務やテレワークの急速な拡大、ICTツールの急速な普及が見られ、人々の働き方も大きく変化しました。個々の人が持つスキルを最大限に活かし、限られた時間であってもその人らしい形で社会に関わることができる機会を増やしていくために、新たな働き方を社会に提案していくことが必要です。

### 今年度の成果

多様で柔軟な働き方を推進し、短時間／超短時間労働であるショートワークの創出に新たに取り組みました。連携している企業や団体に呼びかけ、雇用者側が「仕事として成立しない」と考えている部分にあたる単純作業などをショートワークとして外部に切り出すことを積極的に推進しました。入力作業や、SNS投稿、梱包作業など『業務』として切り出すことができ、就業マッチングにより女性や若者の新たな雇用創出につながりました。また、『副業』に焦点をあて、副業としての起業や就業の注意点、パラレルワークで働く実践者の声を聴くセミナーを開催。社会の変化に合わせた自身のキャリアを考える機会を提供しました。起業セミナーの開催や団体の設立支援を行い、17団体が新たに設立。団体同士のマッチングを支援し、事業の拡大につながるようサポートを行いました。【担当：九鬼】

### 数字で見る今年度の成果

起業団体数	17	団体
事業を拡大した団体数	13	団体
起業相談	240	件
運営相談	438	件
雇用創出	279	件
ショートワーク切り出し件数 (令和3年度新規項目)	54	件



新規NPO法人の認証サポート



ショートワークとして切り出された梱包作業



## 三田市のシニアライフをサポート

### 取り組み理由

高齢化社会の中、シニアによる地域活動が三田市全体の地域活性化の大きな力になると考えます。シニアが生きがいをもち地域社会に働きかけ、いきいきと暮らしていく世の中を作り、また、様々な経験やスキルを持つシニアの力を発揮できる場を作ることが必要です。

### 今年度の成果

全講座オンラインにて開講。起業の基本を学び、自分の経験やキャリアを振り返り、オンラインに不慣れだった受講者も、最終的にはオンライン上で画面共有をしながら事業計画を発表することができました。その事業計画は、趣味の交流からの事業化やシニアライフを豊かにする事業など、三田市のシニアの地域活動を高めるものとなっています。受講者同士の交流も、メーリングリストを使いお互いに有益な情報の交換をし、感染症が一旦落ち着いた時には、対面での交流会を開くことができました。【担当：平岩】

### 数字で見る今年度の成果

受講者数 **5**人 (内修了者4人)  
講座回数 **16**回



感染症が落ち着きを見せた年末に対面による交流会を開催

### 対象

2021年度4月1日現在  
満55歳以上の  
三田市民

### 対象

主に宝塚市内の  
シニア世代の方

## お互いに顔の分かる関係性をつくる

### 今年度の成果

核家族化、高齢社会を迎える中で、シニアの方が孤立せずに、地域の中でお互いに顔の分かる知り合いがいる、話ができる人がいる関係づくりにつながるよう取り組んできました。ほぼ毎月開催している『うたごえ広場クレモナ』では、毎回楽しみに参加される方も増え、月1回の出かけられる場、緩やかながらもつながりができる場としての役割を果たしました。関係づくりのツールとして、スマートフォンを活用できるように『スマホ講習』も開催しました。参加された方は、最初はスマートフォンに苦手意識を持っている方が多くいらっしゃいましたが、講習を通してスタンプ機能を自分で体験して苦手意識が和らいだり、いろいろな機能に興味を持つ方が増えました。社会情勢の移り変わりが激しくなるなか、シニア世代が取り残されることのないような取り組みを進めていきます。【担当：馬越】

### 数字で見る今年度の成果

うたごえ広場クレモナ  
参加者数 **236**人  
スマホ講習  
参加者数 **56**人



スマホへの意識が「苦手」から「興味」に変わったスマホ講習



顔見知りが増えるうたごえ広場

## 安心できる『生活』を支援

**Q** 『住まい』と『ハタラク』は相互に大きく影響をしています。住まいが決定しなければ、仕事に就きにくい。仕事が見つからなくては、住まいを決められない。一人ひとりの生活に合う『住まい』を確保し生活を安定させ『しごと』に就いてもらう。そのように双方からの支援を行うことで安定した生活を支援します。

**今年度の成果** 7月から新たにモデル事業として開始した居住支援事業。住まいに困難を抱えている方を支援できるように行政の窓口やセンター内の就労支援部門と連携を密に取りました。近隣地域の協力事業者や宝塚市と連携を図り、相談者一人ひとりのライフスタイルに合う物件を紹介し、新しい生活をスタートさせることができました。入居後には生活の様子を確認するため、電話をするなどの見守りを行いました。  
【担当：中山】



ひょうご市民活動協議会と共催したセミナー

## SDGsへの取り組みのカタチ『フードシェアリング』

**今年度の成果** 職員研修で実施した『NPOセンターが取り組むSDGs』のワークショップからフードシェアリングの事業が生まれました。日本では食べられずに廃棄される食品が年間約570万トン（一人あたり年間約45kg）。宝塚市内では、ごみ焼却場の建替えや一向に収まらないコロナ禍での生活状況の悪化の課題があります。それらの課題を解決し、ご家庭に眠っている一定の条件を満たした食品をご提供いただき、必要とされる方へお渡しする取り組みを合計4回実施。自治会のご協力を募るなど、地域の皆様のご理解を得られるところは地域づくり部門がメインに行い、集まった食品を仕分け、データ取り、入力には就労希望者の事務体験として就労支援部門が行いました。第1回目に集まった食品は約20kgでしたが、開催を重ねるとともに周知され第4回には295kg集まるまでになり、のべ43人の必要とされる方や団体にお渡しすることができました。自分たちができることからスタートした取り組みが、個人から団体、地域へと広がっていくことを実感しました。【担当：加藤】



地域の皆様にご提供いただいた食品



賞味期限の確認や内容量をチェック

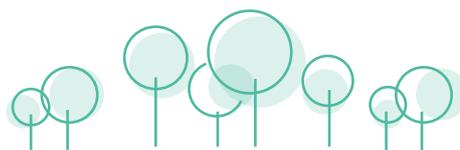




## 実施事業 2.

# ハタラクをささえる

多様な人のはたらくを応援し社会とのつながりを深めます。それにより、柔軟な働き方ができる地域や活気のある社会を広げ、みんなのHAPPYを目指します。



### コープこうべ 第1地区本部本部長 前田さんに聞きました



生活協同組合コープこうべ 第1地区本部 本部長

まえだ ひろやす  
前田 裕保さん

生活協同組合コープこうべの『愛と協同』に感銘を受け、新卒で入所。拠点づくり推進・地域活動推進部にて、地域課題への対応に精力的に活動された後、現職で活躍されています。宝塚地域若者サポートステーションからの職場体験参加者や採用いただいた若者たちからも頼りにされています。プライベートでは認定特定非営利活動法人ぽっかぽかランナースにて伴走スタッフもされています。

シングルで3人の子育てをされていたお客様との出会いがきっかけで生協が目指している『協同』の取り組みに立ち返り、社会参加が困難な方に働いてもらうことを始めました。宝塚NPOセンターの中山理事長にお会いし、この活動をもっと広げられると思い、連携協定を結ぶことにしました。2014年『超高齢化社会プロジェクト』のチーム長になり、社会問題はもっと根深く複雑化していることを痛感。業務提携をした宝塚NPOセンターの感じている社会問題に共通点があり、ボランティアなどを通して『協同』をしています。我々の取り組みである社会とつながりたい方とのマッチングの仕事は本当に楽しい。宝塚NPOセンターから職場体験に参加してくれた若者の成長を直接見られてうれしく思っています。最近では共感してくれる店長や、他のエリアからの問合せも増えました。『共生社会』の実現へ少しでも近づけるよう、社内外での種まきをしていこうと思います。

コープこうべ“協同”の取り組みは下記URLをご確認ください。  
<https://next100.kobe.coop/history/index.php>





## スモールステップで「ハタラキタイ」を応援

一人ひとりの段階に応じて就労に対する多様なサポートが提供できるよう、行政や地域の方々と協働し、理解者・協力者を増やしながら、就労のサポートをしています。

対象

地域を問わず、  
就労を目指す  
15～49歳の方

### 取り組み理由

感染症の拡大でコロナ解雇・雇止めが累計10万人を超え、さらに非正規労働者の解雇が5万人を上回り、絶望やあきらめで引きこもりの大人が増加している今、何かしらの理由で働いていない若者たちはさらに孤立から抜け出せなくなっています。こうした中、働きたいのに働けない若者を地域と連携しながら支援することは、若者がありたい姿で社会の一員として活躍できる未来を作るためにはとても重要だと感じています。

### 今年度の成果

緊急事態宣言等が繰り返された2021年度は新卒採用取りやめ・内定取り消し等で行き場を失った既卒者や、内定が決まっていない大学4回生、就職氷河期世代など多くの若者がさまざまな影響を受けたことから、参加対象者の世代を分け就労の連続講座を行うことで就職へつなぐことができました。

初めての取り組みとして、NPOセンターの事業間の壁を越え外部連携チームを作り、多くの企業様を訪問し若者の現状を伝えるとともに求人の依頼を行い地域とのパイプを強化しました。

また、地域の方から、庭の草刈りやイベントでの運営準備など地域の中で若者が社会経験を積むという貴重な体験の場をいただきました。一方、若者の参加が減少している地域コミュニティ活動に参加し、役に立つことができた若者は支援されるばかりでなく支援する側にまわることで自信へとつながりました。私たちは今後も働きたいという思いに寄り添い、皆がHAPPYになれるようサポートします。【担当：藤田】

### 数字で見る今年度の成果

新規登録者数

141人

うち伊丹市出張相談 15人

相談人数

のべ 1,739人

就職決定者数

118人

講座回数

宝塚  
のべ 82回

のべ 305人

伊丹  
7回

のべ 23人



学生向けの就労セミナー（面接対策）



地域の方と協力してのお寺の清掃





## 若年者向けの就労支援プログラムを実施

宝塚市では『宝塚市就労チャレンジプログラム（づかチャレ）』を、  
伊丹市では『いたみ就勝塾』を開催し、就職活動に難しさを感じている若者の就労支援を行いました。

### 取り組み理由

経験の有無や生活リズム、体調などにより社会変化にうまく対応できていない多くの若者は、コロナ禍で就労にも影響が出ています。どちらのプログラムも自分を知り、他者と関わる中で自分を知り、自信をつけ就労にむすびつける内容です。この支援プログラムを通して、社会への一歩を踏み出すきっかけにし、背中を押すよう支援をしました。

### 今年度の成果

『づかチャレ』は約4ヶ月間（講座15回）4つのSTEPで開催。Zoomを使った講座も取り入れ、職場体験では様々な企業や団体にご協力をいただきました。また、個別面談・就職支援も同時に行うことで、スモールステップで自分を見つめることができました。参加者同士のコミュニケーションも回を重ねるごとに深まり、講座を通して成長されました。修了式までには15名の参加者がそれぞれの目標を見出し、新たなスタートを開始されました。

『いたみ就勝塾』は就活の基礎を学んだ後、『合同会社説明会・合同就職面接会』で実際の面接にチャレンジしてもらうプログラムで伊丹市内在住の若者が伊丹市内の企業で働くことを目標としています。参加者はプログラムを重ねる毎に、働きたい思いを強くしながら目標に向かいました。自分自身がここまで変われるとは思っていなかったと感想をもらす参加者もあり、改めて個別支援の大切さを痛感。また、合同会社説明会の参加企業とも今後の連携につながる関係性を持つことができました。【担当：加藤・松永】

### 数字で見る今年度の成果



宝塚市の就労支援対象者：15歳～49歳の無業の方  
伊丹市の就労支援対象者：15歳～おおむね50歳の無業の方



地域の農園で玉ねぎの苗植え  
（農作業体験）



合同会社説明会・合同就職面接会





## ハタラクを応援する

一人ひとりに寄り添うこと、生活面も一緒に考えることなど『ハタラク』ことの応援を、地域の力を借りながら行い、それぞれの思う未来へと一緒に進みました。

### 対象

宝塚市在住で  
仕事を  
探している方

### 取り組み理由

雇用を取り巻く環境は依然として厳しいものがあり、就労に結び付かないケースが多いものの景気は後退時期から脱却しつつあり、募集状況の改善も見られるようになりました。

はたらく応援センターの登録者の約半数以上は『経済的困窮』か『就職活動困難』の問題を抱えていますが、2021年度は『病気』や『社会的孤立（ニート・ひきこもり）』など、すぐには応募に移ることができず、就職活動の準備に時間を要する方が多かったことも特徴と言えます。

### 今年度の成果

感染症の影響で働くことに困難さを感じている方の背景は一人ひとり異なります。失職や減給が原因の方はご自身で就職活動ができる方も多く、持ち直していく場合も多いのですが、特例貸付や給付を使い切ってしまう、生活がいよいよ逼迫してしまう方の支援は長期化する傾向にありました。

しかし昨年度から力を入れている企業連携において、宝塚地域若者サポートステーションと企業情報や求人等を共有しながら、職場見学や職場体験を進めた結果、マッチングが図れたことは成果と言えます。多様化する働き方に合わせ在宅勤務可能な求人等の雇用をショートワークとして創出することも、コロナで売上げが下がった個人事業主のダブルワーク先となりました。背景が一人ひとり異なるように一人ひとりの目指すゴールも異なります。地域と人をつなぎながらこれからも「ハタラク」応援をしていきたいと思えます。【担当：加藤】

新型コロナウイルス感染症に関連する相談件数  
(宝塚市内)

新規 **591** 件

数字で見る今年度の成果

累計登録者数 **41** 人

相談件数 **1,245** 人

就職決定・増収者数 **72** 人



ポールウォーキングで健康づくり



協力しながら農園作業





## 女性の『ハタラク』への一歩を応援

私たちの強みである事業間連携を核に、一人ひとりの段階に合わせた就労支援を実施し、コロナ禍で希薄になった社会とのつながりをもう一度持てるようサポートしました。

### 対象

年齢を問わず、  
宝塚市内在住で就労を  
考えている女性

### 取り組み理由

結婚や育児・介護などに左右されやすい女性のキャリアは、感染症の拡大の影響もありさらなる困難にさらされています。長引くコロナ禍で外出がしづらく、望まない孤独や孤立で不安を感じ、様々な悩みやストレスをひとりで抱え込んでしまう方も増えています。『はたらくスタート IPPO』は、そういった女性たちが気軽に継続して相談できる場を提供することで、社会とのつながりの回復をささえます。

### 今年度の成果

対面のほか、電話、チャット形式での相談を実施し、育児や介護でなかなか来所できない方からの相談も受けることができました。また、オリジナルの『IPPO ワーク BOOK』を作成。応募書類や面接時の自己 PR 作成に活用できるだけでなく、経歴や目標、価値観などを整理し、これからのライフとワークについて考えるための冊子です。就労部門の他事業とも連携し、相談者にマッチしたサポートを受けられるよう並行して取り組みました。

人と話す機会が減り、ひとりで悩み孤立してしまうケースが増えていることから、同じように悩みを抱える方々が気軽に来て話せる場として『居場所 IPPO』を開催。鍼灸師やコーチングコーチをゲストに迎え、悩みについて話せる場も設けました。仕事に役立つ Word・Excel の使い方を学ぶパソコン講座も開催しました。また、応募書類作成のアドバイスを受ける方もいっしょに、次の段階への一歩を踏み出す大きなきっかけとなりました。

【担当：上田・櫻井】

### 数字で見る今年度の成果

(2021.11~2022.3)

新規登録者数

62人

相談件数

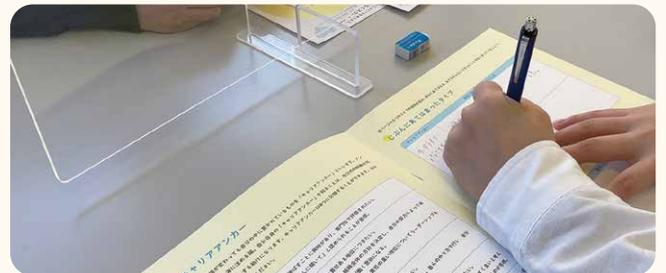
220人

就職決定者数

17人

講座回数

および参加人数 5回 のべ 40人



『IPPO ワーク BOOK』を用いたキャリアカウンセリングの様子



IPPO ワーク BOOK



自分の悩みが誰かの励みになる  
こともある居場所交流



## 企業と連携し働きやすい地域づくりへ前進



今年度の成果

就業意識が多様化しさまざまな働き方が必要となってきました。誰もが共に働ける社会を目指し、女性や高齢者、若者たちへと『しごと』をつなげるため、企業などに業務の切り出しの提案をしていました。以前より就労困難な若者などに積極的に就労の場を提供していただいていた『生活協同組合コープこうべ』(以下コープさん)に提案をしたところ、困りごとがあるので対応できないかご相談があり、ピッキングや事務、ポスター作成、緊急物資の発送作業など、職員さんの手の行き届かない作業での就労の場を提供いただきました。

就労体験の参加者は働くことで『やりがい』や働く喜びを感じ、回を重ねるごとに仕事に対する責任感も生まれました。今後もコープさんとのこの取り組みが続くよう『生き甲斐ある働きやすい地域づくり』という協定を結ぶことができました。コープさんの事例の様に、今後も地域の企業と連携し、若者やシニアなど幅広い方がイキイキと働けるような地域づくりを目指していききたいと思います。【担当：藤田】



シニアの方と若者とで協力しあって作業中



かなり体力勝負となった  
大量のダンボールに商品を詰める作業



ネットスーパーでの  
ピッキングの職場体験

## みんなで考え生み出した『ハタラク』



取り組む理由

私たちの活動の柱はまちづくりと就労支援です。その活動の要は宝塚NPOセンターのビジョン・ミッション・バリューであり、私たちはそれを踏まえ、社会課題の解決につながるような事業を1年かけて職員研修の中で考えてきました。

結果、下記の2件の企画提案が上がりました。

①起業というキーワードからでた子供向けセミナー事業

②就職困難者(ハタラク)と地域の困り事(ツナガル)、両方の解決につながる清掃事業

①と②をビジョン・ミッション・バリューに照らし合わせたときに、より宝塚NPOセンターだから実施できると考えた事業が『清掃事業』だったので。

清掃事業『Say! So!』とは、地域で社会貢献したいと考えているオーナーのマンションを私たちが就労のサポートをしている方に清掃をして頂く事業で、2022年3月よりスタートしています。

【担当：加藤・藤田・西中】



各事業の棚卸をおこなった職員研修



清掃事業がスタート



ガラス清掃の作業中

# 2022年度 特定非営利活動に係る事業計画

2022年4月1日～2023年3月31日

2022年度 特定非営利活動に係る事業計画

## 1. ツナガリとニギワイをつくる

自分のやりたいことでこれからのまちをつくる人を応援し、  
楽しみながらその想いを実現できる社会を広げ、みんなのHAPPYを目指します。

	事業内容	実施目標
市民活動促進支援事業 [対象:宝塚市内の市民と 市民活動団体]	<b>市民力のあふれるまちにするために</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・特定非営利活動法人の起業・運営相談</li><li>・市民活動団体等のコミュニティビジネス育成等の支援</li><li>・補助金・助成金事業一覧の作成、及び申請支援</li></ul> <b>誰もが参加できるまちづくりのために</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・市民活動団体等のICT（デジタル化）活用支援</li><li>・『宝塚市みんなのまちづくり協議会ポータルサイト』の運営</li><li>・まちづくり協議会の情報発信支援・活性化支援</li><li>・市民活動団体の実力アップ講座</li></ul>	通年 通年 通年  通年 通年 通年 1講座
生きがいしごと サポートセンター事業 [対象:兵庫県民]	<b>シニア世代の多様で柔軟な働き方を推進するために</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・働くシニア支援ステーション運営（ホームページによる情報提供）</li><li>・シニア向け起業講座・多様な働き方を学ぶセミナー</li><li>・シニア向け在宅ワーカー育成講座</li></ul> <b>社会の変化に則した多様で柔軟な働き方創出のために</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域課題から仕事を作り出す視点を学ぶ講座</li><li>・仕事の切り出しをして地域にシェアするための講座</li></ul> <b>コミュニティビジネス等での起業・就業を支援するために</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・就労相談・CB団体・NPO法人就業体験・学生等若者対象のインターンシップ</li><li>・専門家派遣、CB起業・NPO法人化相談、経営相談</li><li>・団体設立・起業支援</li><li>・CBセミナー、女性のためのCB起業講座</li></ul>	通年 2講座(各連続2回) 1講座(連続3回)  1講座 2講座(連続2回)  通年 通年 25団体 各1講座
コミュニティ・ビジネス ICT活用促進事業 [対象:兵庫県民]	<b>コロナ禍で停滞する活動を発展させるために</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・オンライン会議システムを用いたコミュニケーションを促進</li><li>・団体の情報発信力強化と活性化</li><li>・ICTサービスの導入活用・促進</li></ul>	通年 通年 通年
ひょうごアドプト促進業務 [対象:阪神北地域で アドプトに取り組む団体]	<b>地域の景観を守る市民団体支援</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・アドプト団体活動支援</li></ul>	40団体 通年
シェアカフェ起業支援事業 [対象:シェアカフェ利用オーナー]	<b>宝塚のにぎわいづくりと起業支援</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・起業し店舗運営するオーナー支援</li></ul>	通年
三田市創業支援と 地域活動支援事業 [対象:55歳以上の三田市民]	<b>シニアによる地域活動と創業への学びのために</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・さんだ生涯学習カレッジ研究科</li><li>・創業支援コース／地域活動コースの連続セミナー開催</li></ul>	1講座 1講座
居住支援事業 [対象者:宝塚市内の 居住支援を必要とする人]	<ul style="list-style-type: none"><li>・入居のための支援</li><li>・入居後の就労支援・生活支援</li></ul>	通年 通年
母子ハウス [対象者:母子家庭]	<ul style="list-style-type: none"><li>・母子ハウスの改修工事</li><li>・入居者の募集</li><li>・母子家庭にかかわる関係者のネットワーク作り</li><li>・入居者への就労支援と食糧支援</li><li>・地域コミュニティとの協働による支援</li></ul>	通年 通年 通年 通年 通年

## 2. ハタラクをささえる

多様な人のはたらくを応援し社会のつながりを深めます。

それにより、柔軟な働き方ができる地域や活気のある社会を広げ、みんなのHAPPYを目指します。

	事業内容	実施目標
地域若者サポート ステーション事業 [対象者：地域を問わず 就労を目指す15～49歳]	<b>一人ひとりに寄り添うキャリア支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア相談（伊丹市役所での相談業務含む）</li> <li>・キャリアセミナー開催（伊丹市でのキャリアセミナーを含む）</li> <li>・新卒・既卒3年未満対象セミナー</li> <li>・就職氷河期世代向け対象セミナー</li> </ul> <b>地域とともにキャリア支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業や団体での職場体験</li> <li>・地域企業や団体とのネットワーク構築</li> <li>・ミニ企業説明会</li> <li>・ITを活用した就労支援</li> </ul>	新規登録者140人 就職決定者100人 5回 6回 通年 40団体 6回 通年
就労準備支援事業及び 生活困窮者自立相談支援事業 (就労支援) [対象：宝塚市民]	<b>一人ひとりに寄り添うキャリア支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア相談</li> </ul> <b>生活と働くことを一緒に考える支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフプラン等各種講座</li> <li>・地域と連携した農作業体験</li> <li>・食品ロス問題を通じた就労支援</li> </ul> <b>地域とともにキャリア支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業や団体とのネットワークを活用した職場体験</li> <li>・ミニ面接会や交流会</li> <li>・ITを活用した就労支援</li> </ul>	通年 5回 12回 3回 24人 2回 通年
女性のための就労支援事業 [対象：宝塚市在住で 就労を目指す女性]	<b>キャリアアップや再就職を目指すためのキャリアセミナー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによるMOS資格取得講座</li> </ul> <b>一人ひとりに寄り添うキャリア支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア相談</li> </ul>	100時間 通年
若者就労支援事業 [対象者：就労に課題を抱える 宝塚市内の15歳～49歳]	<b>一人ひとりに適切な進路を導くキャリア支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援セミナー</li> <li>・職場体験実習</li> <li>・キャリア相談</li> </ul>	19講座 通年 通年
Say!So! (清掃) 事業 [対象：一般市民]	<b>マンションの共有スペースの清掃×働く場を探している人</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃マンション物件数</li> <li>・作業従事者の教育と就労支援</li> </ul>	4件 2人



# 2021年度 貸借対照表／活動計算書

2021年度 貸借対照表／活動計算書

## 貸借対照表 簡易版

2022年3月31日現在

(単位：円)

借方		決算額		貸方		決算額	
資産の部	I 流動資産			I 流動負債			
	現金・預金			預り金	443,619		
	現金	122,031		前受金	432,100		
	郵便貯金	7,775,235		会費前受金	121,000		
	普通預金	8,348,946		仮受委託金	2,396,918		
	定期預金	5,000,000		未払金	4,387,739		
	(現金・貯金合計)		21,246,212	未払法人税等	82,000		
	その他の資産			未払消費税等	2,830,700		
	未収入金	20,921,081		II 固定負債			
	前払費用	798,346		預かり保証金	254,000		
(小計)		21,719,427	負債合計		10,948,076		
(流動資産合計)		42,965,639	正味財産の部				
II 固定資産			前期繰越正味財産額	33,333,532			
有形固定資産			当期正味財産増加額	1,116,110			
建物附属設備	755,639		正味財産合計	34,449,642	34,449,642		
有形固定資産計	755,639						
無形固定資産							
電話加入権	76,440						
無形固定資産計	76,440						
投資その他の資産							
敷金	1,500,000						
差入保証金	100,000						
投資その他の資産計	1,600,000						
固定資産合計		2,432,079					
資産合計		45,397,718	負債及び正味財産合計		45,397,718		

## 活動計算書 簡易版

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当初予算	決算額
I 経常収益		
1. 受取会費	1,000,000	1,147,000
2. 受取寄付金	300,000	351,152
3. 受取助成金等	10,500,000	12,143,178
4. 事業収益	68,120,858	74,066,812
5. その他収益	100,000	383,869
経常収益計	80,020,858	88,092,011
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	53,242,526	53,874,028
(2) その他経費	22,925,796	31,115,312
事業費計	76,168,322	84,989,340
2. 管理費		
(1) 人件費	520,000	28,092
(2) その他経費	2,705,000	1,876,469
管理費計	3,225,000	1,904,561
経常費用計	79,393,322	86,893,901
III 経常外収益		
1 雑収益	0	0
経常外収益計	0	0
IV 経常外費用		
1 雑損失	0	0
経常外費用計	0	0
税引前当期正味財産増減額	627,536	1,198,110
法人税等	82,000	82,000
当期正味財産増減額	545,536	1,116,110
前期繰越正味財産額	33,333,532	33,333,532
当期正味財産合計	33,879,068	34,449,642



# 2022年度 活動予算書

## 活動予算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当初予算
I 経常収益	
1. 受取会費	
正会員受取会費	450,000
賛助会員受取会費	600,000
2. 受取寄付金	1,100,000
3. 受取助成金等	29,555,000
4. 事業収益	67,816,100
5. その他収益	400,000
経常収益計	99,921,100
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	52,492,232
(2) その他経費	28,911,969
事業費計	81,404,201
2. 管理費	
(1) 人件費	80,000
(2) その他経費	885,000
管理費計	965,000
経常費用計	82,369,201
III 経常外費用	
1 雑損失	0
経常外費用計	0
税引前当期正味財産増減額	17,551,899
法人税等	82,000
当期正味財産増減額	17,469,899
前期繰越正味財産額	34,449,642
当期正味財産合計	51,919,541



# 2021年度 支えてくださった皆さん

2021年度 支えてくださった皆さん

**法人会員**  
 6団体  
 有限会社 目見田商事  
 株式会社 てらす  
 社会福祉法人 宝塚市社会福祉協議会  
 生活協同組合コープこうべ  
 医療法人回生会 宝塚病院  
 ソリオ宝塚都市開発株式会社

**個人正会員**  
 48名  
 塩谷 惣太郎  
 吉野 茂子  
 田中 敦子  
 肥塚 真由美

神農 弘見  
 宗田 淑子  
 尾島 恵子  
 岩崎 奈美  
 寺谷 一枝  
 魏 玉衡  
 今井 弘道  
 西風 直美  
 佐々木 敏子  
 藤原 律子  
 戸川 沙也華  
 林 慶子  
 原 有未  
 我妻 澄子  
 高山 咲花  
 轟木 裕子  
 井賀 英夫  
 喜多 毅  
 越知 昌賜  
 西井 進剛  
 九鬼 麻衣  
 代継 規弘  
 田中 茂  
 中野 裕行  
 若山 晴司  
 細谷 崇  
 内田 梓  
 三木 さくら  
 福島 達夫  
 橋田 てつ子  
 山添 令子  
 中山 光子

福間 則博  
 牧里 毎治  
 林 宏昭  
 倉橋 滋樹  
 鶴丸 悌二  
 遠座 俊明  
 佐藤 健二  
 山本 敬子  
 山田 忠生  
 匿名希望3名

**団体会員**  
 36団体  
 川西もみの木  
 バイカモ楽農会  
 ヒューマンサポート関西  
 健康・生きがい就労ラボ  
 DAREDEMO HERO  
 えくぼ  
 ユーズ宝島  
 愛's さぼーと  
 宝塚市栄町西自治会  
 宝塚投資塾自考庵  
 まちづくりの会すけっと  
 共生苑  
 兵庫空き家相談センター  
 コスモス  
 宝塚まち遊び委員会  
 水道施設整備技術協議会  
 ほっと宝塚子育てネットワーク  
 川西市手をつなぐ育成会  
 宝塚市花のみち自治会  
 国際交流団体未来  
 エスリード宝塚自治会  
 そら  
 日高共同作業所  
 ネパール・ヨードを支える会  
 宝塚園芸福祉協会  
 宅老所 光明の家  
 キッピーフレンズ  
 オフィス・ナウ  
 支援の会ひまわり  
 宝塚N I S I T A N I  
 市民活動フォーラムみのお  
 ソリオ宝塚自治会

めふのお家  
 宝塚青年会議所  
 兵庫虹の会  
 いきいきシニアゼミナール

**賛助会員**  
 141名  
 アンドイーアンドイー  
 食を考える会 食文化研究所  
 女性起業研究会 ESPACE  
 いけはた電器  
 いたみ野良猫をふやさない会  
 みゆうみゆう  
 ハンドクラフターズ株式会社  
 C.U.P  
 宝塚つ・む・ぐの家  
 武庫が丘まちづくりビューロー  
 ビッグスタッフ  
 たんぼぼルーム  
 中ゴウ社会保険労務士事務所  
 友愛こぶし  
 きらら  
 さわやか三田  
 西根 千鶴  
 小山 美恵子  
 松前 幸子  
 高橋 宏  
 品川 こころ  
 小山 直美  
 岡部 加奈子  
 横山 知哉  
 蘆原 聖子  
 子延 優子  
 原口 陽子  
 仲 清人  
 菊池 郁夫  
 岩佐 将志  
 丸谷 典子  
 出澤 淳一  
 三原 伸也  
 河本 美代子  
 松藤 聖一  
 藤津 忍  
 加藤 幹子  
 松永 啓子



松本 立志  
滝澤 実穂  
櫻井 有香  
千田 幸子  
犬塚 秀樹  
西崎 節子  
山田 早弓  
村川 建太郎  
藤田 資  
植村 好美  
鈴木 祐未  
石堂 弥華子  
中嶋 亜起  
妹尾 勇太郎  
津堅 伸一  
山口 三代子  
山口 勝民  
吉田 道呼  
迫 久美子  
村瀬 由美子  
美濃 三環子  
竹林 美咲  
副島 香織  
西川 由希枝  
秋澤 辰弥  
今井 必生  
疋田 智子  
中西 志津子  
藤田 かおり  
海野 順子  
團 泰雄  
竹内 志津香  
高橋 章子  
風早 寿郎  
藤岡 和枝  
田中 保子  
細見 克行  
村上 昌輝  
高橋 由希  
塔筋 幸造  
仲下 輝美  
高野 学  
和泉 昌三

立川 文代  
馬越 康弘  
山本 敏晴  
久世 直子  
上坂 和子  
飯室 裕文  
工藤 圭子  
前田 敦司  
金岡 重子  
松永 星子  
森脇 やすと  
宮脇 瑞穂  
森本 樹  
小副川 久代  
山口 耕平  
澁谷 富子  
小林 浩昭  
永井 弘行  
須藤 栄一  
森田 かつ子  
庄野 達也  
石橋 さなえ  
東郷 寛  
藤田 昭  
釣島 平三郎  
森田 義  
金谷 信子  
高松 泰子  
黒木 雅子  
新福 泰雅  
正木 みつ子  
大橋 良子  
原 啓  
川口 章子  
川久保 雄介  
谷川原 宇子  
古田 時子  
木村 佳友  
車田 清美  
直田 春夫  
井上 芳子  
三戸 俊徳  
多胡 葉子

山口 一史  
匿名希望 17名

寄付者  
24名

阪神シニアカレッジ同窓会  
前田 裕保  
長野 嘉行  
宝塚の杜芸術倶楽部  
中山 修  
野末 勝  
吉田 道呼  
鈴坂 綱伸  
小泉 登志代  
秋澤 辰弥  
喜多 毅  
後藤 桂治  
共生苑  
濱本 佳子  
山本 敏晴  
久世 直子  
飯室 裕文  
大西 和昭  
橘田 てつ子  
石橋 さなえ  
木村 佳友  
井上 芳子  
三戸 俊徳  
山口 一史

(敬称略・順不同)

ご寄付について

24年間の寄付総額

39,699,082円

2021年度の寄付金額

351,152円

(2022年3月末時点)

私たちの活動は、皆さまに  
支えられています。詳しく  
は右側のQRコードか下記  
URLをご確認ください。



<https://hnpo.net/support/>



# ボランティア

さまざまな角度や立場からのご意見と一緒に作業をする際の何気ない会話は、私たちに多くの気づきを与えてくれ、また新しい風を吹き込んでくれます。

普段の細かな事務作業から、宝塚NPOセンター主催イベントなどに、若者からシニアまで多くのボランティアの皆さんが関わっていただきました。

私たちにとって、ボランティアの皆さんは欠かすことのできない活動のパートナーです。今後も多くのボランティアの皆さんと共に、人が行き交う市民活動の交差点として活気あふれる宝塚NPOセンターを目指したいと考えています。

多くのサポート、ありがとうございました。

2021年度のボランティア時間

**1,002**時間

ボランティア時間を労働時間に換算すると

常勤職員1名の**9**ヶ月分

無償役務を換算すると

**929,856**円のご寄付に相当

## 職員

石堂 弥華子  
石橋 さなえ  
犬塚 秀樹  
上田 明子  
馬越 康弘  
片山 桂  
加藤 幹子

九鬼 麻衣  
櫻井 有香  
鈴木 祐未  
千田 幸子  
高瀬 梓  
滝澤 実穂  
中野 裕行

中山 光子  
西崎 節子  
西中 優子  
子延 優子  
平岩 伊佐子  
深田 英一  
藤田 かおり

松永 啓子  
溝本 直人  
美濃 安侑子  
村瀬 由美子  
山下 智子  
山名 真人

2022年3月末現在 50音順

## 役員一覧

理事長	中山 光子	認定NPO法人 宝塚NPOセンター
副理事長	越知 昌賜	関西国際大学 非常勤講師
理事	西井 進剛	兵庫県立大学 経営研究科 教授
理事	福島 達夫	福島労務サポートオフィス
理事	細谷 崇	CoderDojo 西宮・梅田代表
理事	山添 令子	認定NPO法人 宝塚NPOセンター 会員
理事	疋田 智子	軸ラボ
監事	遠座 俊明	大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所
監事	中原 さくら	中原会計事務所

2022年3月末現在



# 取り組みのSDGs対応一覧表

	ツナガリとニギワイをつくる	ハタラクをささえる
 <p>1 貧困をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援事業</li> </ul>	
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・ビジネス ICT 活用促進</li> <li>・シニアの生きがい事業</li> <li>・居住支援事業</li> <li>・フードシェアリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宝塚市就労準備支援事業及び生活困窮者自立相談支援事業</li> </ul>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・ビジネス ICT 活用促進</li> <li>・生きがいしごとサポートセンター事業</li> <li>・三田市創業支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験付若者就労支援事業</li> <li>・伊丹市若年者就労サポート事業</li> </ul>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子ハウス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宝塚市伴走型女性就労支援事業（IPPO）</li> </ul>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがいしごとサポートセンター事業</li> <li>・三田市創業支援事業</li> <li>・シニアの生きがい事業</li> <li>・フードシェアリング</li> <li>・シェアカフェ</li> <li>・母子ハウス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域若者サポートステーション事業</li> <li>・職場体験付若者就労支援事業</li> <li>・伊丹市若年者就労サポート事業</li> <li>・宝塚市就労準備支援事業及び生活困窮者自立相談支援事業</li> <li>・宝塚市伴走型女性就労支援事業（IPPO）</li> <li>・企業連携</li> <li>・清掃（Say! So!）事業</li> </ul>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動促進支援事業</li> <li>・ひょうごアドプト推進業務</li> <li>・三田市創業支援事業</li> <li>・居住支援事業</li> <li>・シェアカフェ</li> <li>・母子ハウス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃（Say! So!）事業</li> </ul>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードシェアリング</li> </ul>	
 <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動促進支援事業</li> <li>・ひょうごアドプト推進業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域若者サポートステーション事業</li> <li>・職場体験付若者就労支援事業</li> <li>・伊丹市若年者就労サポート事業</li> <li>・宝塚市就労準備支援事業及び生活困窮者自立相談支援事業</li> <li>・企業連携</li> </ul>

認定NPO法人 宝塚NPOセンター 2021年度事業報告書

発行日：2022年6月 発行責任者：中山 光子

制作：加藤 幹子、西中 優子、藤田 かおり、松永 啓子 デザイン：rashisa inc.

発行：認定NPO法人 宝塚NPOセンター（〒665-0845 宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F）



認定NPO法人

**宝塚NPOセンター**

TAKARAZUKA NPO CENTER

〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

TEL : 0797-85-7766 FAX : 0797-85-7799

Mail : zukanpo@hnpo.net URL : <https://hnpo.net>

